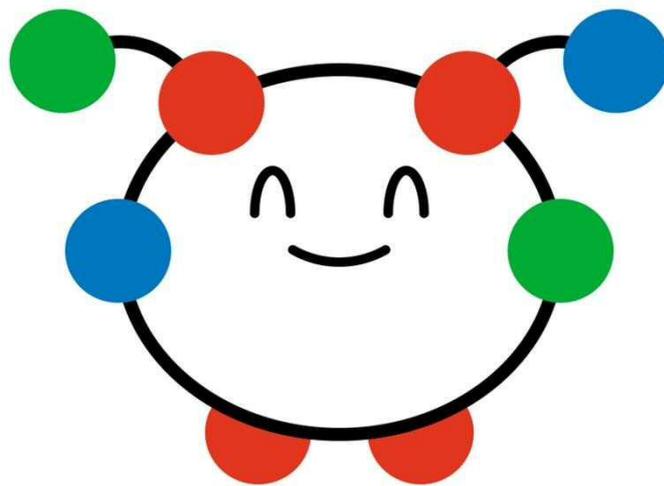


お知らせします！ 基金の使い道！！

(平成30年度末)



富山県南砺市

1. 基金の状況

平成30年度末における基金設置数は22基金で、基金残高は下表のとおりとなっています。
(251億1,130万円)

(単位：円)

基金名	設置目的	H30末残高
01_財政調整基金 (積立)	市財政の健全な運営を図るため	3,479,659,018
02_減債基金 (積立)	市債の償還に必要な財源を確保するとともに、将来にわたる市財政の健全な運営を図るため	5,843,817,240
03_施設等整備基金 (積立)	市の施設等の整備を計画的に実施するため (道路整備5箇年計画等)	2,013,193,834
04_国際交流基金 (積立)	市民の国際交流事業の推進を図るため	85,675,367
05_社会福祉基金 (積立)	市民の福祉の増進をはかるため	1,362,914,851
06_環境保全基金 (積立)	地域住民が共同して行う土地改良施設等の地域資源の保全及び活用に係る事業を推進することで、農村地域の良好で快適な環境の創造を図るため	67,269,264
07_合併地域振興基金 (積立)	8町村の合併に伴い誕生した本市住民の一体感の醸成、発展あるまちづくり及び元気な地域づくりを推進するため	3,900,286,196
08_クレー射撃場施設管理基金 (積立)	クレー射撃場施設の維持管理費に充てるため	16,973,815
09_東日本大震災支援基金 (積立)	東日本大震災の被災地及び被災者の支援を図るため	328,179
10_過疎地域自立促進基金 (積立)	過疎地域自立促進特別事業に要する経費に充てるため(産業振興、交通通信、厚生、教育文化、その他)	381,812,718
11_スポーツ拠点づくり自立促進基金 (積立)	スポーツ拠点づくり自立促進事業に伴うスポーツライミング競技JOCジュニアオリンピックカップ大会の開催経費に充てるため	613,420
12_すこやか子育て基金 (積立)	次代を担う子どもたちの健やかな成長を図り、結婚、妊娠、出産、子育て及び教育まで切れ目のないサービスを提供できる環境づくりを図るため	1,515,659,889
13_地方創生推進基金 (積立)	南砺幸せなまちづくり創生総合戦略に係る事業の継続的な推進を図るため	451,819,318
14_公共施設再編基金 (積立)	公共施設再編計画の着実な実行を図るため	2,600,000,000
15_Uターン就職奨学基金 (積立)	奨学資金の貸与を受けた者の返済額を助成し、Uターン就職及び市内での定住の推進を図るため	22,824,000
16_商工観光振興基金 (積立)	地域の商工業の振興及び観光事業の推進に資するため	398,811,294
17_こども未来創造基金 (積立)	児童・生徒の多様な学びの機会を提供し、魅力あふれる人材育成の推進に資するため	448,857,579

(単位：円)

基金名	設置目的	H30末残高
18_国民健康保険事業財政調整基金 (積立)	国民健康保険事業の健全な財政運営を図るため	887,260,607
19_訪問看護事業財政調整基金 (積立)	訪問看護事業の健全な財政運営を図るため	88,245,150
20_奨学基金 (定額)	奨学金に関する事務を円滑かつ効果的に行うため	192,432,145
21_土地開発基金 (定額)	公用もしくは公共用に利用する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することで、公共事業の円滑な執行を図るため	1,298,748,080
22_美術品取得基金 (定額)	美術品の取得に要する経費に充てるため	54,097,113
合計		25,111,299,077

- ※1 (積立)：特定の目的のために積み立てられた基金で、基金の運用から生じる収益も含めて、特定事業の財源として活用(取崩し)できるもの。積立基金。
- ※2 (定額)：特定の目的のため定額の資金を運用する目的で積み立てられた基金で、歳入歳出予算に計上することなく、直接、基金で土地や美術品を購入したり、資金を貸し付けするもの。定額運用基金。
- ※3 出納整理期間中の積立て及び取崩しを反映しているため、南砺市歳入歳出決算書に記載する財産に関する調書の数値とは一致しません。

2. 基金の活用状況と残高の推移

平成30年度に基金を使って行った事業を紹介します。

※表示単位の端数処理（四捨五入）により、合計等が一致しない場合があります。
また、表示単位未満の数値があるときは「0」、数値がないときは「-」とします。

01_財政調整基金

（担当：財政課）

平成30年度は、取り崩しは行わず、後年度の財源調整のため3億8,718万円と基金の運用から得られた収益1,094万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	64億6,545万円	64億9,165万円	60億1,906万円	59億3,768万円	30億8,154万円
当該年度積立額	2,620万円	2,462万円	3,230万円	1,676万円	3億9,812万円
当該年度取崩額	- 万円	4億9,721万円	1億1,368万円	28億7,290万円	- 万円
当該年度残高	64億9,165万円	60億1,906万円	59億3,768万円	30億8,154万円	34億7,966万円

（注）財政調整基金の残高は、標準財政規模（全国どこでも同じ水準の行政サービスを提供するために必要な一般財源のこと。平成30年度は210億5,026万円）の10%から15%の範囲内となるように努めることとしています。

02_減債基金

（担当：財政課）

平成30年度は、公債費（借金の返済）負担の平準化を図るために、定期償還に必要な財源として2億8,300万円を取り崩し充当しました。

また、基金の運用から得られた収益2,167万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	64億9,012万円	65億1,726万円	65億4,187万円	65億7,697万円	61億 515万円
当該年度積立額	2,714万円	2,461万円	3,510万円	2,517万円	2,167万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	4億9,700万円	2億8,300万円
当該年度残高	65億1,726万円	65億4,187万円	65億7,697万円	61億 515万円	58億4,382万円



03_施設等整備基金

(担当：財政課)

平成30年度は、道路整備5箇年計画（H30-R4）に基づく市道整備事業の財源として5,580万円、第9回シアター・オリムピックス施設整備事業補助金の財源として5,000万円を取り崩し充当しました。

また、基金の運用から得られた収益749万円に加え、城端温水プールへの指定寄附金200万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	16億8,780万円	16億9,374万円	17億 581万円	16億5,836万円	21億 951万円
当該年度積立額	594万円	1,207万円	915万円	5億4,435万円	949万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	5,660万円	9,320万円	1億 580万円
当該年度残高	16億9,374万円	17億 581万円	16億5,836万円	21億 951万円	20億1,319万円



市道館市野沢線



市道石黒北山田線

04_国際交流基金

(担当：交流観光まちづくり課)

平成30年度は、南砺市国際交流協会の実施する各種派遣事業（アメリカ・マルボロ町、ポートルランド市、オーストラリア等）等に必要な補助金の財源として1,205万円を取り崩し充当しました。

また、基金の運用から得られた収益35万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	1億4,923万円	1億3,480万円	1億2,040万円	1億 851万円	9,738万円
当該年度積立額	57万円	60万円	56万円	42万円	35万円
当該年度取崩額	1,500万円	1,500万円	1,245万円	1,155万円	1,205万円
当該年度残高	1億3,480万円	1億2,040万円	1億 851万円	9,738万円	8,568万円

05_社会福祉基金

(担当：財政課)

平成30年度は、高齢者福祉施設の修繕事業の財源として210万円を取り崩し充当しました。基金の運用から得られた収益485万円は、基金への積み立ては行わず、社会福祉法人南砺市社会福祉協議会が実施する事業に対する補助金（1億5,774万円）の財源に充当しました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円
当該年度積立額	- 万円				
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	210万円
当該年度残高	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,291万円

06_環境保全基金

(担当：建設課)

平成30年度は、基金の運用から得られた収益24万円を、基金には積立せず、市単独の土地改良事業補助金（744万円）の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円
当該年度積立額	- 万円				
当該年度取崩額	- 万円				
当該年度残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円

07_合併地域振興基金

(担当：財政課)

平成30年度は、基金の運用から得られた収益1,384万円を、基金には積み立てせずに、各種イベント補助金（城端むぎや祭、いなみ太子伝観光祭、南砺菊まつり、なんと福光ねつおくり七夕祭り等）の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	40億4,647万円	39億 182万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	1億4,465万円	153万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	39億 182万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円



08_クレ-射撃場施設管理基金

(担当：生涯学習スポーツ課)

平成30年度は、クレ-射撃場トラップハウス屋根修繕工事（129万円）の財源として、120万円を取り崩し充当しました。また、基金の運用から得られた収益6万円も、基金への積み立ては行わず、同事業の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	3,209万円	3,223万円	2,602万円	2,279万円	1,817万円
当該年度積立額	14万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	622万円	322万円	462万円	120万円
当該年度残高	3,223万円	2,602万円	2,279万円	1,817万円	1,697万円

09_東日本大震災支援基金

(担当：財政課)

平成30年度は、福島県南相馬市との交流事業に要する経費の財源として20万円を取り崩し充当しました。

また、市民の皆様からご寄附をいただいた20万円と基金の運用から得られた収益（1,152円）を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	797万円	374万円	119万円	82万円	32万円
当該年度積立額	96万円	25万円	20万円	10万円	20万円
当該年度取崩額	520万円	279万円	57万円	60万円	20万円
当該年度残高	374万円	119万円	82万円	32万円	33万円

10_過疎地域自立促進基金

(担当：財政課)

平成30年度は、定住推進事業や空き家対策に要する事業、中部日本スキー大会運営事業補助金、国民体育大会準備事業補助金及び第9回シアター・オリンピックスの準備事業負担金の財源として3,910万円を取り崩し充当しました。

また、引き続き、過疎地域の活性化を図る事業の財源として9,890万円、基金の運用から得られた収益114万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	1億4,130万円	1億4,601万円	1億8,378万円	2億6,277万円	3億2,087万円
当該年度積立額	7,122万円	8,147万円	1億1,059万円	9,441万円	1億 4万円
当該年度取崩額	6,651万円	4,370万円	3,160万円	3,630万円	3,910万円
当該年度残高	1億4,601万円	1億8,378万円	2億6,277万円	3億2,087万円	3億8,181万円



11_スポーツ拠点づくり自立促進基金

(担当：生涯学習スポーツ課)

平成30年度は、スポーツライミング競技JOCジュニアオリンピックカップ大会補助金（160万円）の財源として80万円を取り崩し充当しました。

また、基金の運用から得られた収益（4,999円）を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円	- 万円	310万円	220万円	141 万円
当該年度積立額	- 万円	400万円	- 万円	1万円	0万円
当該年度取崩額	- 万円	90万円	90万円	80万円	80万円
当該年度残高	- 万円	310万円	220万円	141 万円	61万円

12_すこやか子育て基金

(担当：財政課)

平成30年度は、保育料軽減（無償化）事業や出生祝い金助成事業（三世代加算分）のほか、こども妊産婦医療費助成事業、不妊治療費助成事業等の財源として、2億80万円を取り崩し充当しました。

また、基金の運用から得られた収益607万円を基金に積み立てました。

【主な事業と充当額】

・保育園費（保育料軽減（無償化）事業、臨時保育士処遇改善分）	1億2,340万円
・こども妊産婦医療費給付費（医療費助成）	4,880万円
・すこやか親子支援事業費（出産支援交通費助成事業、不妊治療助成事業）	1,230万円
・児童育成費（出生祝い金助成事業）	960万円
・施設型給付等支援費（保育料軽減（無償化）事業）	670万円

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円	10億 0万円	10億 206万円	10億2,704万円	17億1,039万円
当該年度積立額	10億円	343万円	2億1,238万円	8億8,665万円	607万円
当該年度取崩額	- 万円	137万円	1億8,740万円	2億 330万円	2億 80万円
当該年度残高	10億円	10億 206万円	10億2,704万円	17億1,039万円	15億1,566万円



13_地方創生推進基金

(担当：地方創生推進課)

人口減少や少子・高齢化の進行による地域経済の縮小や地域社会の維持が困難となるといった課題を克服するため、平成27年度(2015年度)から令和元年度(2019年度)までを計画期間とする「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略」を策定し、5年間の累計で約34億円の事業を展開することとしています。

平成30年度に取り組んだ事業費は、合計6億6,489万円で、そのうち、地方創生推進基金2億8,680万円を事業推進のための財源として取り崩し充当したほか、基金の運用から得られた収益261万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円	- 万円	10億2,000万円	10億 60万円	7億3,601万円
当該年度積立額	- 万円	10億2,000万円	- 万円	381万円	261万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	1,940万円	2億6,840万円	2億8,680万円
当該年度残高	- 万円	10億2,000万円	10億 60万円	7億3,601万円	4億5,182万円

※主な事業を抜粋して紹介します！

心豊かな「結(ゆい)」と「土徳(どとく)」のまち創造



事業名	事業内容	H30決算額	基金充当額
妊娠・出産包括支援事業(南砺市型「ネウボラ」推進事業)	母子保健訪問、産後ケア、子育てサロン、不妊治療費助成、不育症治療費助成、出産支援交通費助成 等	2,244万円	900万円
南砺の三人っ子政策	3子以上多子世帯の高校通学定期券の助成(1/2)、医療費の助成(全額)	302万円	290万円
子育て応援制度	ひとり親世帯の高校通学定期券の助成(1/2)、入学祝い金の支給(小学校2万円、中学校3万円、高校5万円)、子育て応援企業認定制度の推進	582万円	580万円
こども医療費助成制度	中学校卒業までの通院、入院に係る医療費を助成	2,273万円	2,230万円
三世代同居奨励金及び推進住宅改修等助成事業	三世代同居世帯奨励事業補助金、三世代同居推進住宅改修等補助金	2,005万円	2,000万円
ふるさと教育推進事業	ふるさとの自然や歴史、文化に対する理解を深める郷土学習の推進	199万円	190万円
なんバスで暮らそう事業	シルバーバスの発行(70歳以上、5千円で年間乗り放題)	247万円	240万円
奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業	奨学資金支援助成金の交付、Uターン就職奨学基金への積立金	1,502万円	1,357万円
小児医療推進事業	富山大学附属病院地域医療支援サテライトセンター運営経費	2,300万円	2,300万円

多様な仕事を育む地域課題解決のまち創造



事業名	事業内容	H30決算額	基金充当額
起業家育成支援事業	新規事業に対する各種助成(事務所等開設、事務所等借上げ、販売促進)	1,650万円	1,650万円
母子家庭等就業・自立支援事業	各種資格取得中の生活支援	176万円	40万円
空き店舗対策支援事業	空き店舗を活用し新たに事業に取り組む方への支援(改装費、借上げ料、販売促進費)	873万円	870万円

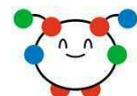
事業名	事業内容	H30決算額	基金充当額
就活・雇用促進事業	企業採用情報掲載サイト登録等への助成、合同説明会開催費用への助成	159万円	140万円
企業立地奨励事業・小規模事業者応援制度	企業立地奨励金の助成	4,127万円	4,120万円
クリエイター育成マッチング事業	クリエイタープラザ利用促進事業業務委託、クリエイタープラザ利用促進補助金	656万円	650万円
南砺ブランド商品開発支援事業	南砺ブランド認定事業、南砺ブランド商品開発支援事業補助金、食資源の高付加価値化と流通体系構築に向けた実証実験	874万円	570万円
伝統的工芸品後継者育成支援事業	伝統的工芸品後継者育成費用に対する助成	755万円	750万円

南砺市版エコビレッジによる新しいライフスタイルのまち創造



事業名	事業内容	H30決算額	基金充当額
再生可能エネルギー推進事業	木質ペレットストーブ等購入補助金、エネルギー用材搬出支援事業補助金、木質資源利用啓発PR事業補助金、木質ペレット購入支援事業補助金	475万円	220万円
地場産農作物消費向上事業	学校給食向け県産食材活用プロジェクト事業補助金	170万円	150万円
五箇山茅場の造成補助事業	茅場造成事業	414万円	200万円
「森の学校」の創設	「森の学校の創設」事業補助金	1,900万円	250万円

芸術・文化・景観・ひとが紡ぐ交流のまち創造



事業名	事業内容	H30決算額	基金充当額
移住定住者の保育料無料制度	市外からの定住世帯に対し、保育料を無料化する	904万円	860万円
定住促進雇用対策事業	市内へ新規に転入した方を雇用した企業に対し、必要経費を助成	938万円	930万円
ふるさと回帰転入助成事業	ふるさと回帰転入助成（引っ越し費用の1/2を助成。10万円上限）	184万円	170万円
定住支援事業	持家奨励金（中古10万円、新築30万円）、新婚世帯民間賃貸居住補助金（1万円/月×24月）	1,107万円	1,100万円
南砺版求人バンクで地域活性化（地域の困りごと解決）	さすらいワーク業務委託（フリーランス向けプロモーション、コンテンツ制作）、さすらいワークシェアリング事業業務委託（副業就業者の移住支援）	377万円	370万円
観光客受入環境整備事業	クレジット決済環境整備、トイレの機能強化に要する費用への支援	36万円	10万円
なんと！幸せのおすそわけキャンペーン	金沢市アンテナショップ「銀座の金沢」を活用した交流事業、友好都市である東京都武蔵野市「吉祥寺」での交流事業	300万円	150万円
TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想	インバウンド観光プロモーション（TOGAサマーフェスティバル、誘客プロモーション）、クリエイターズネットワークの構築（TOGA LABO、ビジネス創造支援）	1,894万円	940万円

14_公共施設再編基金

(担当：財政課)

平成30年度は、基金の運用から得られた収益923万円を、基金には積み立ては行わず、保育園及び小中学校の維持管理経費（光熱水費）に充当しました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円	- 万円	5億2,000万円	10億4,000万円	26億円
当該年度積立額	- 万円	5億2,000万円	5億2,000万円	15億6,000万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	- 万円	5億2,000万円	10億4,000万円	26億0,000万円	26億円

15_Uターン就職奨学基金

(担当：教育総務課)

平成30年度は、奨学金の貸与者が市内へ転入して就職された方を対象に、奨学金返還額相当額を助成する事業の財源として146万円を充当しました。基金の運用から得られた収益4万円は、基金には積み立てず、事務局運営費（1,337万円）の財源として充当しました。

また、後年度の安定的な事業継続のための資金として、1,357万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	576万円	1,072万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	600万円	600万円	1,357万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	24万円	104万円	146万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	576万円	1,072万円	2,282万円

16_商工観光振興基金

(担当：財政課)

平成30年度は、果実運用基金であった「産業振興基金」を新設の積立基金「商工観光振興基金」として3億9,740万円の積み替えを行いました。また、「産業振興基金」の基金の運用から得られた収益141万円も基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円				
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,881万円
当該年度取崩額	- 万円				
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,881万円

(参考) <旧 産業振興基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	3億8,315万円	3億8,876万円	3億9,377万円	3億9,589万円	3億9,740万円
当該年度積立額	561万円	501万円	211万円	152万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,740万円
当該年度残高	3億8,876万円	3億9,377万円	3億9,589万円	3億9,740万円	- 万円

※果実運用基金＝特定の目的のために積み立てられた基金で、基金の運用から生じる収益のみ、特定事業の財源として活用できるもの。（元金の取崩しは原則としてできません。）

17_こども未来創造基金

(担当：財政課)

平成30年度は、果実運用基金であった「学校教育振興基金」、「生涯学習振興基金」、「文化振興基金」、「スポーツ振興基金」の4基金を、新設の積立基金「こども未来創造基金」として4億4,807万円の積み替えを行いました。

また、基金運用から得られた収益については「学校教育振興基金」33万円及び「生涯学習振興基金」46万円を基金に積み立てし、「文化振興基金」53万円と「スポーツ振興基金」28万円は基金には積み立てせずそれぞれ芸術文化推進費及び生涯スポーツ推進費の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	- 万円				
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	4億4,886万円
当該年度取崩額	- 万円				
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	4億4,886万円

(参考)

<旧 学校教育振興基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	8,920万円	8,998万円	9,114万円	9,163万円	9,198万円
当該年度積立額	78万円	116万円	49万円	35万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	9,198万円
当該年度残高	8,998万円	9,114万円	9,163万円	9,198万円	- 万円

<旧 生涯学習振興基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	1億2,667万円	1億2,749万円	1億2,913万円	1億2,982万円	1億3,032万円
当該年度積立額	82万円	164万円	69万円	50万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	1億3,032万円
当該年度残高	1億2,749万円	1億2,913万円	1億2,982万円	1億3,032万円	- 万円

<旧 文化振興基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	1億4,807万円	1億4,807万円	1億4,807万円	1億4,807万円	1億4,807万円
当該年度積立額	- 万円				
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	1億4,807万円
当該年度残高	1億4,807万円	1億4,807万円	1億4,807万円	1億4,807万円	- 万円

<旧 スポーツ振興基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	7,769万円	7,769万円	7,769万円	7,769万円	7,769万円
当該年度積立額	- 万円				
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	7,769万円
当該年度残高	7,769万円	7,769万円	7,769万円	7,769万円	- 万円

※果実運用基金＝特定の目的のために積み立てられた基金で、基金の運用から生じる収益のみ、特定事業の財源として活用できるもの。(元金の取崩しは原則としてできません。)

18_国民健康保険事業財政調整基金

(担当：市民生活課)

平成30年度は、決算剰余金等を活用して1億6,551万円、基金の運用から得られた収益255万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	3億2,011万円	3億6,958万円	7億 760万円	6億1,274万円	7億1,920万円
当該年度積立額	4,947万円	3億3,802万円	380万円	1億 647万円	1億6,806万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	9,866万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	3億6,958万円	7億 760万円	6億1,274万円	7億1,920万円	8億8,726万円

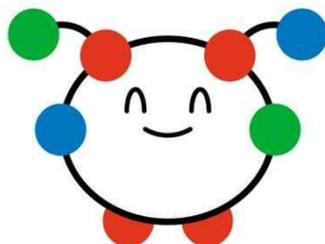
19_訪問看護事業財政調整基金

(担当：医療課)

平成30年度は、財源不足に対応するために2,100万円を取り崩し充当しました。また、基金の運用から得られた収益39万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	1億6,343万円	1億6,706万円	1億5,760万円	1億 844万円	1億 886万円
当該年度積立額	363万円	54万円	84万円	42万円	39万円
当該年度取崩額	- 万円	1,000万円	5,000万円	- 万円	2,100万円
当該年度残高	1億6,706万円	1億5,760万円	1億 844万円	1億 886万円	8,825万円



20_奨学基金

(担当：教育総務課)

平成30年度は、1,872万円の貸し付けを行ったほか、基金の運用から得られた収益5万円及び貸付金返済金11万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

		H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	現金	4,072万円	5,470万円	6,719万円	7,806万円	8,944万円
	貸付金	1億4,551万円	1億3,452万円	1億2,376万円	1億1,378万円	1億 283万円
当該年度中の増	現金	3,081万円	2,838万円	2,962万円	3,066万円	2,276万円
	貸付金	1,683万円	1,589万円	1,875万円	1,928万円	1,872万円
当該年度中の減	現金	1,683万円	1,589万円	1,875万円	1,928万円	1,872万円
	貸付金	2,782万円	2,665万円	2,873万円	3,023万円	2,260万円
当該年度残高	現金	5,470万円	6,719万円	7,806万円	8,944万円	9,348万円
	貸付金	1億3,452万円	1億2,376万円	1億1,378万円	1億 283万円	9,895万円

21_土地開発基金

(担当：財政課)

平成30年度は、基金の運用から得られた収益42万円を積み立てました。
また、土地について取得額から時価評価額に評価額の見直しを行い、9,208万円を減額しました。

<基金残高の推移>

		H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	現金	10億9,574万円	5億 356万円	7億 780万円	9億3,310万円	9億5,610万円
	土地	2億8,836万円	8億8,308万円	6億8,065万円	4億5,695万円	4億3,430万円
当該年度中の増	現金	3,059万円	2億1,463万円	2億2,530万円	2,300万円	42万円
	土地	6億2,277万円	1,038万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度中の減	現金	6億2,277万円	1,038万円	- 万円	- 万円	- 万円
	土地	2,805万円	2億1,281万円	2億2,370万円	2,265万円	9,208万円
当該年度残高	現金	5億 356万円	7億 780万円	9億3,310万円	9億5,610万円	9億5,652万円
	土地	8億8,308万円	6億8,065万円	4億5,695万円	4億3,430万円	3億4,223万円

22_美術品取得基金

(担当：福光美術館)

平成30年度は、基金の運用から得られた収益（198円）を積み立てました。

<基金残高の推移>

		H26	H27	H28	H29	H30
前年度末残高	現金	513万円	513万円	515万円	1,986万円	1,986万円
	美術品	4,894万円	4,894万円	4,894万円	3,424万円	3,424万円
当該年度中の増	現金	0万円	2万円	1,670万円	0万円	0万円
	美術品	- 万円	- 万円	200万円	- 万円	- 万円
当該年度中の減	現金	- 万円	- 万円	200万円	- 万円	- 万円
	美術品	- 万円	- 万円	1,670万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	現金	513万円	515万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円
	美術品	4,894万円	4,894万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円

3. 定額運用基金の状況

1. 奨学基金

《貸付金と貸与者数の状況》

区分	平成29年度末 貸与者数	平成29年度末 現在高（貸付残高）	平成30年度		平成30年度末 貸与者数	平成30年度末 現在高（貸付残高）
			貸付	返済		
10,000円/月	0人	/	/	/	0人	/
30,000円/月	4人				3人	
35,000円/月	43人				42人	
計	47人	1億 283万円	1,872万円	2,260万円	45人	9,895万円

《基金現金の状況》

区分	平成29年度末 現在高	平成30年度		平成30年度末 現在高
		増	減	
現金	8,944万円	2,276万円	1,872万円	9,348万円

南砺市奨学金貸与制度の概要

1. 奨学資金の目的

有用な人財の育成を図るため、優れた資質があるにも関わらず、授業料等の支払いが困難な学生に対して、奨学資金を貸与しています。

2. 資金の貸与を受けることができる方

次の全てに該当する必要があります。

- (1) 保護者が市内に住所を有していること。
- (2) 健康かつ品行方正であって、学業成績が優秀であること。
- (3) 授業料等の支払いが困難であること。
- (4) 学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学又は大学（大学院を除く。）に在学する方であること。
- (5) 在学した学校長又は現に在学する学校長の推薦があること。

3. 貸与の額

- 高等学校・高等専門学校（自宅）・・・月額10,000円以内
- 高等学校・高等専門学校（自宅外）・・・月額30,000円以内
- 専修学校（専門）・短期大学・大学・・・月額35,000円以内

4. 貸与期間、返済期間

正規の修学期間が終了する月まで貸与します。また、卒業した月の翌月から7年以内（1年据置）に返済していただくことになります。（貸与資金の返済に利息はつきません。）

5. 選考基準

資金の貸与を受けようとする方は、学力及び家計の両方の基準を満たす必要がありますが、家計の基準が優先されます。

(1) 学力基準

- ① 新入生は、出身校の在学期間の全履修教科の平均値（評定平均値）が3.5以上。2年生以上は、入学から前年度までの全履修教科の平均値とします。
- ② 3.0以上3.5未満であっても、家族構成、家庭事情、本人の学業意欲、人物所見によって考慮します。

(2) 家計基準

貸与を受けようとする方の世帯人数に応じた収入基準をもとに算定されます。
詳細については、教育総務課までお気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先：南砺市 教育部 教育総務課

〒932-0292 南砺市井波520 TEL：0763-23-2012、FAX：0763-82-1144

2. 土地開発基金

《土地面積の状況》

(単位：㎡)

区分	平成29年度末 現在高	平成30年度		平成30年度末 現在高
		増	減	
宅地	30,630.48	-	-	30,630.48
田畑	3,187.86	-	-	3,187.86
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	4,197.53	-	-	4,197.53
合計	38,015.87	0.00	0.00	38,015.87

《簿価（土地価格）の状況》

(単位：円)

区分	平成29年度末 現在高	平成30年度		平成30年度末 現在高
		増	減	
宅地	369,357,417	-	62,641,300	306,716,117
田畑	56,426,956	-	28,060,279	28,366,677
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	8,520,858	-	1,375,451	7,145,407
土地 計	434,305,231	0	92,077,030	342,228,201
現金預金 計	956,099,760	420,119	0	956,519,879
合計	1,390,404,991	420,119	92,077,030	1,298,748,080

※H30年度において土地の売買はありませんが、取得額から時価評価額へ価格の見直しを行ったため、土地価格のみ減少しています。

3. 美術品取得基金
 ≪美術品の状況≫

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
櫻井之駅 楠父子誠忠	1	山本 光一	日本画	軸装	H16.8.4	315,000	軸先が陶器
栖霞品句板巻	1	棟方 志功	版画	製本	H16.8.4	700,000	
棟方志功日記他資料一括（日記3・資料6）	9	棟方 志功	資料		H17.8.9	1,260,000	
笈	2	石崎 光瑤	日本画	2曲1双屏風	H17.8.19	15,000,000	裏箔・第8回文展 褒状受賞
横臥裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	21点セット購入 10,500,000円
裸婦三人	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦群像	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（2）赤眼の裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	840,000	
裸婦庭図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
裸婦座像（3）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
横臥図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
池畔図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
裸婦座像（4）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
立山遠望	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
二人裸婦	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
山間風景（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
立像裸婦達	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	1,260,000	
山間風景（2）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
桜樹	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
赤松	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
鯉魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
静物	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	367,500	
裸婦立像図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	2,625,000	
双鶏	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	2,000,000	

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
信州槍岳之図	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	315,000	
牡丹の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.8.10	1,000,000	
貝族の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.9.10	3,150,000	
合計	38					34,240,000	

「笥」 石崎 光瑤 作



(右隻).

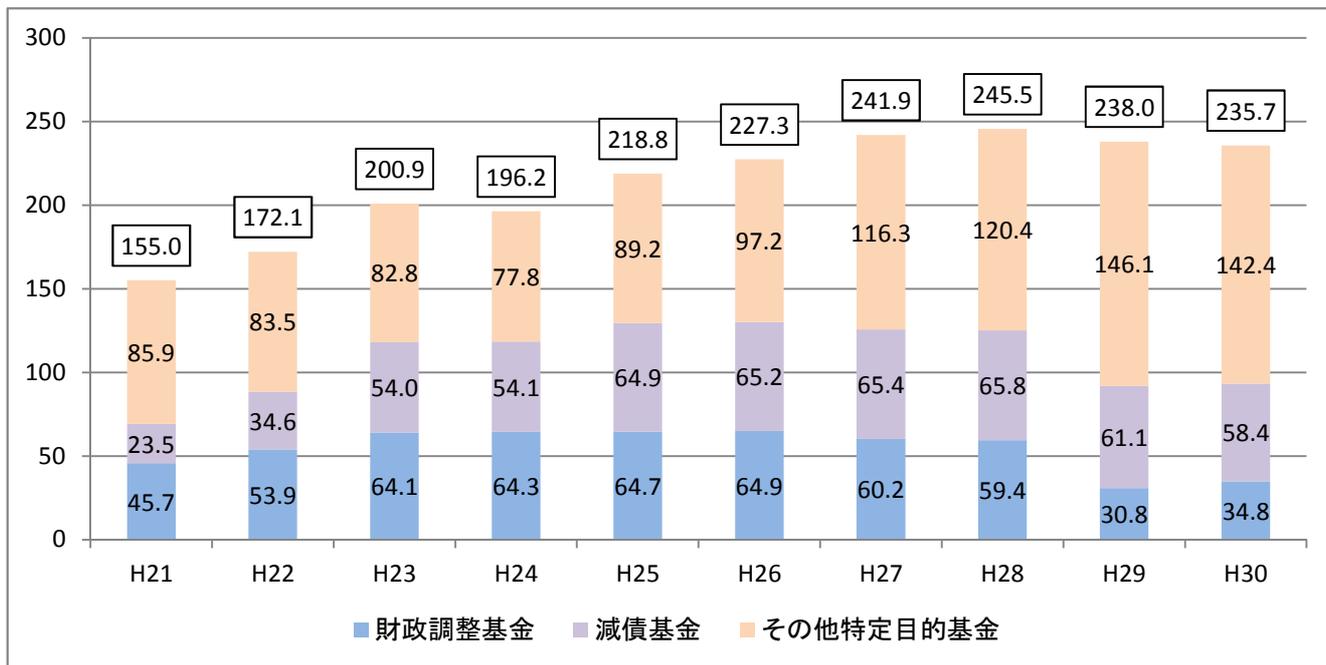


(左隻).

4. グラフで見る基金の推移（定額運用基金を除く）

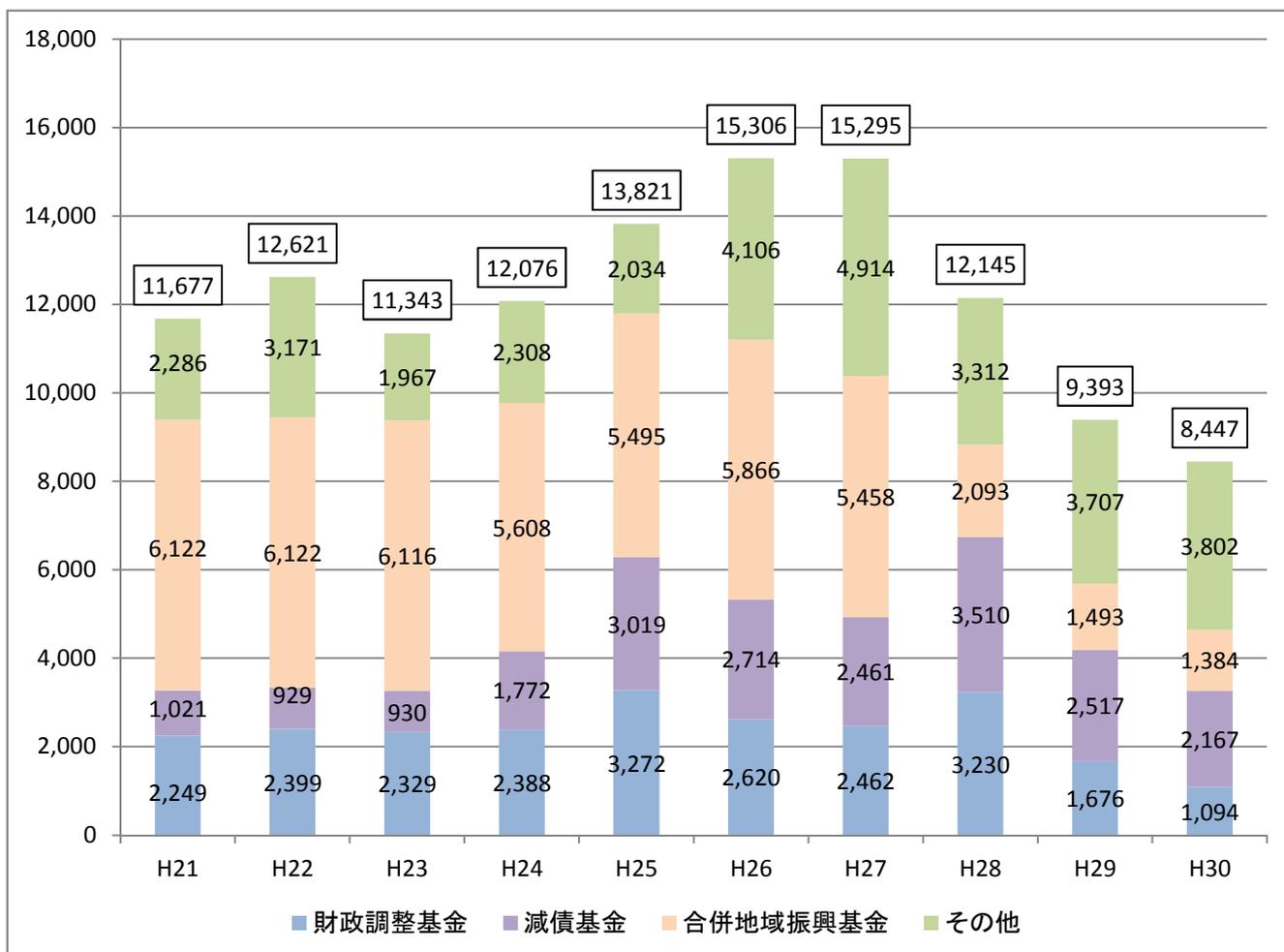
《年度末現在高》

（単位：億円）



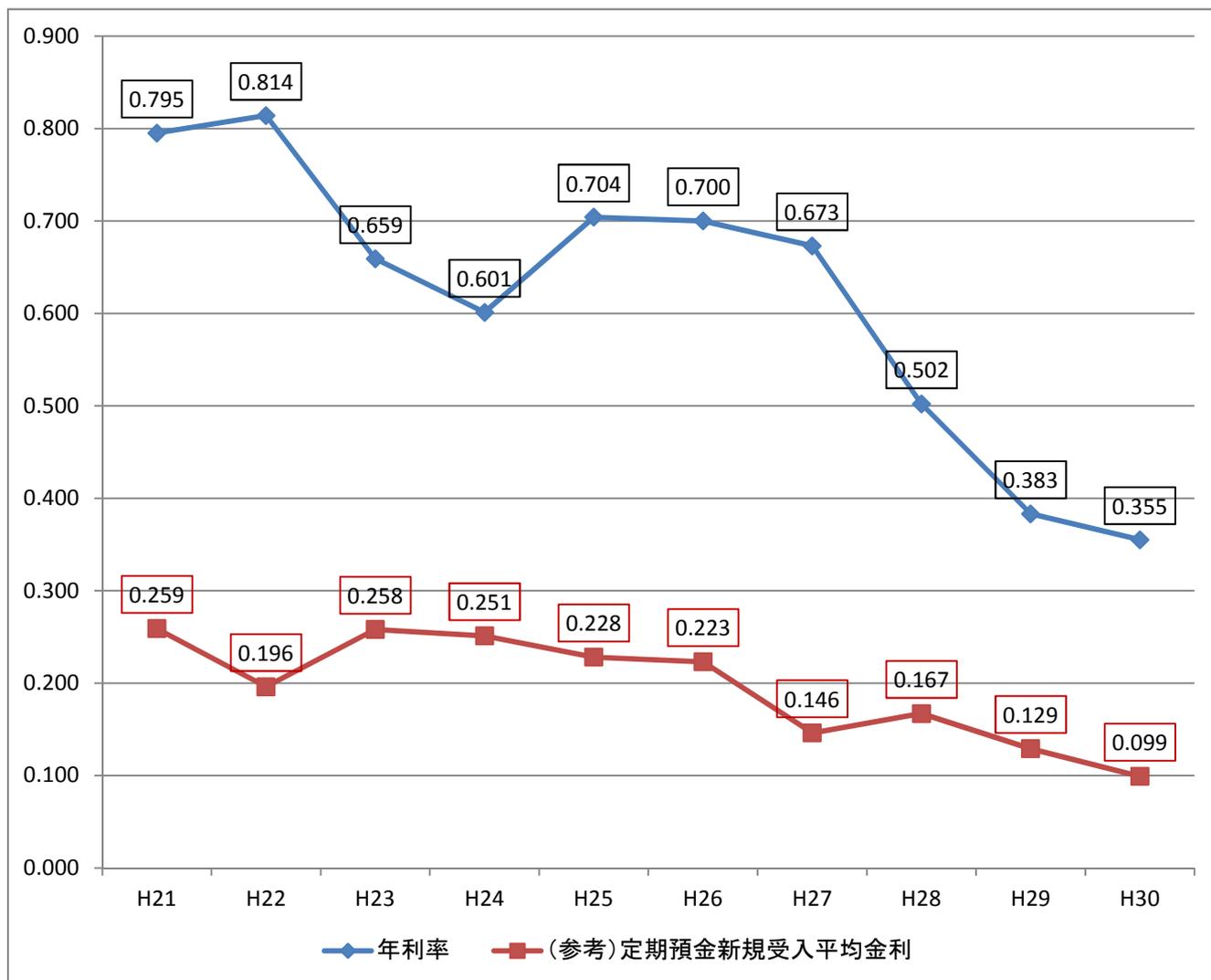
《運用益の状況》

（単位：万円）



《年利率》

(単位：%)



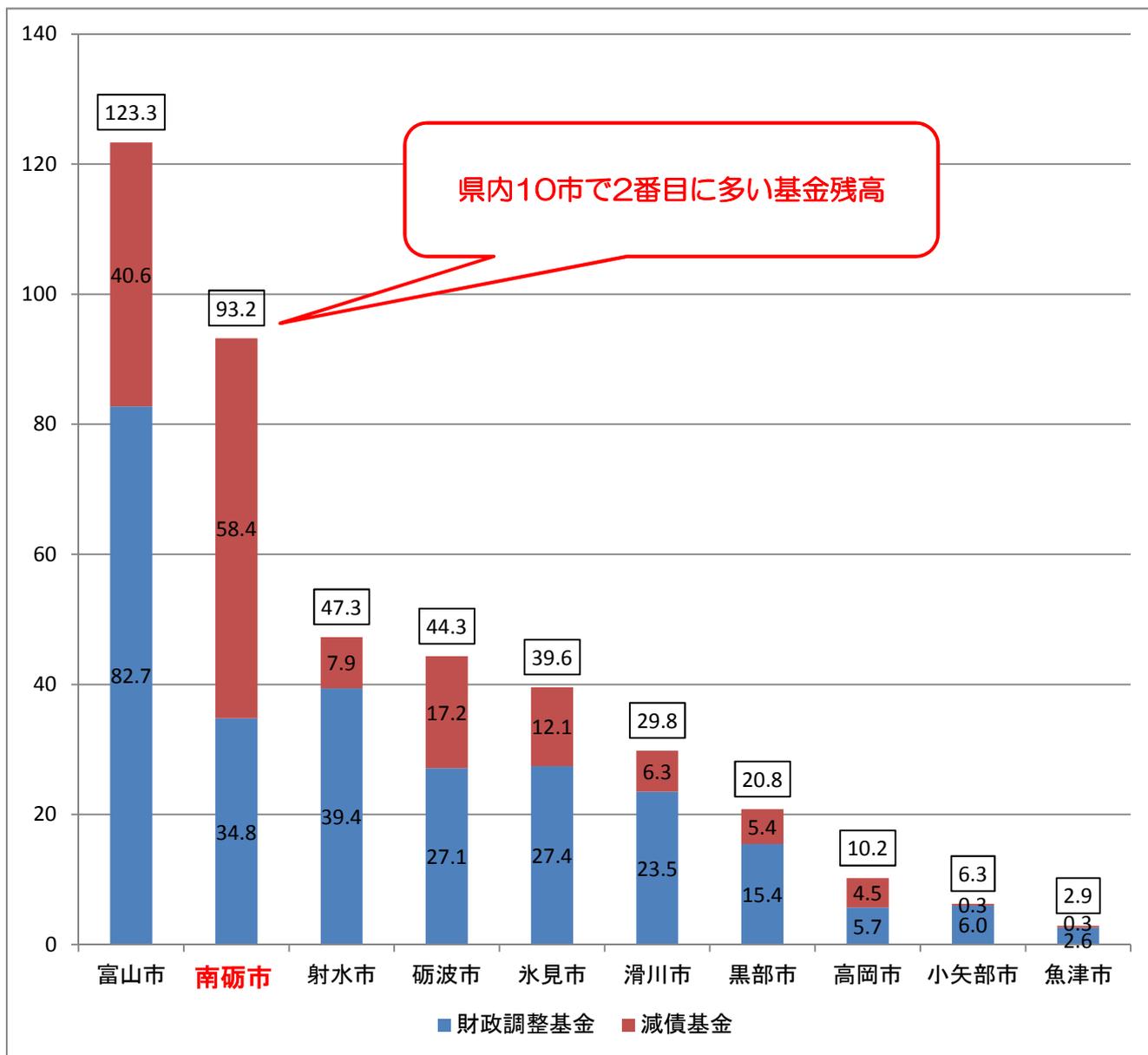
※1 年利率は、次の算式によって求めています。年利率＝n年度運用益総額÷(n-1)年度末基金残高×100

※2 「(参考)定期預金新規受入平均金利」は、日本銀行が公表している毎年3月における「定期預金新規受入平均金利(預入金額1千万円以上、預入期間3カ月以上6カ月未満)」の値を参考としています。

※3 平成28年度からは、基金の一括運用を行っており、基金の運用によって生じた収益は、1月1日現在の基金現在高に応じて、按分する取扱いとしています。

≪県内10市の財政調整基金及び減債基金現在高（平成30年度末）≫

（単位：億円）



出典：平成30年度地方財政状況調査

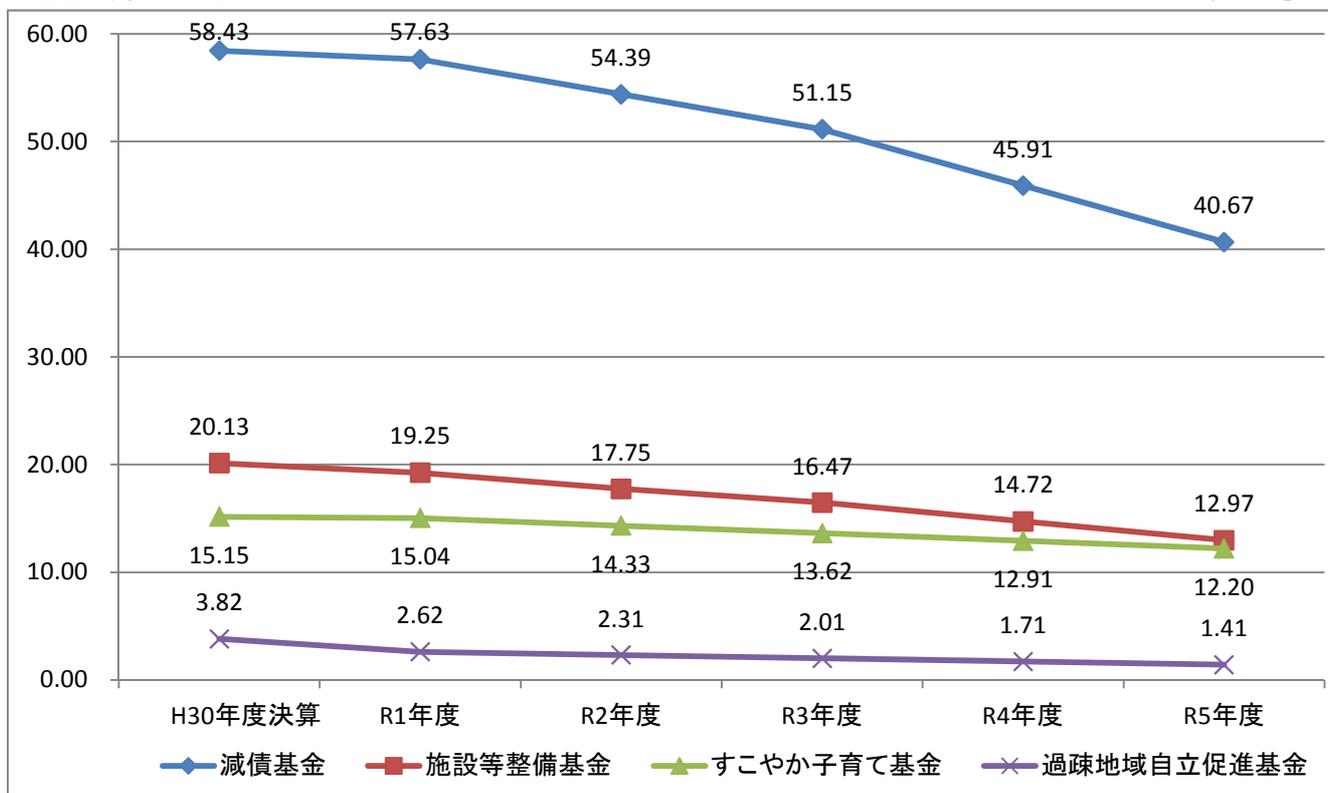
《今後の基金活用予定》

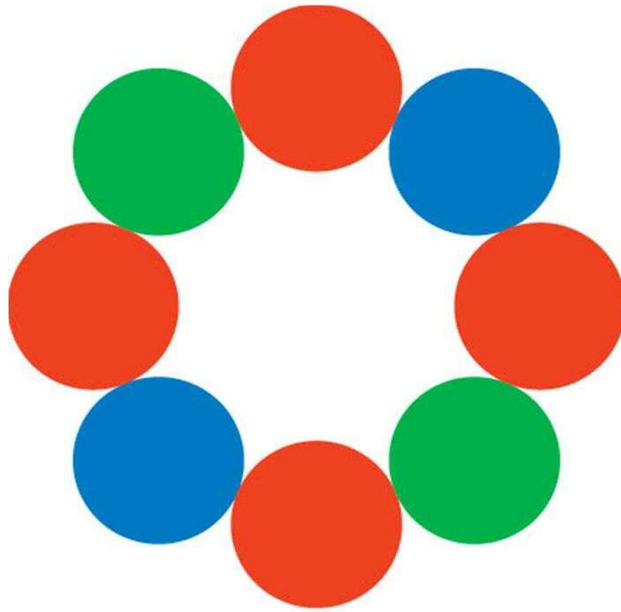
今後の財政見通しでは、普通交付税が令和元年度をもって合併による特例期間が終了し、令和3年度には令和2年度実施の国勢調査人口の反映による歳入減少が見込まれます。加えて、大型建設事業の財源として発行してきた公債費が令和4年度に償還ピークを迎えることから、財源不足が懸念されるため、市としては、計画的に基金を活用することとしています。

なお、基金残高は今後の財政状況によって、変動する可能性があります。

■基金残高の見込み

(単位：億円)





NANTO

【問合せ】

〒939-1596 富山県南砺市苗島4880

南砺市役所 市長政策部 財政課

TEL 0763-23-2030

FAX 0763-23-1602